

## 3月6日「令和5年度公開まちづくりセミナー」

— Good Circular Place — 好循環の場をめざして

事業委員会 委員長 浦山 豊隆

令和6年3月6日(水)に「令和5年度公開まちづくりセミナー」を開催しました。会場は広島県民文化センター 多目的ホール、約144名と多数のご来場をいただきました。講師には、新広島市民球場「マツダスタジアム」につづき、新広島サッカー場「エディオンピースウイング広島」を設計されました、仙田満先生をお迎えしました。2月10日に、エディオンピースウイング広島がオープンしました。そのタイミングに合わせて講演会をお願いすることができました。

1968年に「環境デザイン研究所」を設立、1982年「こどものあそび環境の構造の研究」で工学博士を取得、現在は東京工業大学名誉教授とされています。56年間にわたり、「環境建築家」として活動されてきました。

— Good Circular Place — 好循環の場をめざして

講演は4つのテーマに分けて、ご説明がありました。

### ■「教室について」～子どもに対する建築家の責任～

現代の教室のイメージである、教壇に向かって一方向に机が並べているスタイルは、1787年にジョセフィ・ランカスター（イギリスの教育学者）によって発明され、学び、知識をより早く伝達する方法として、普及してきたものである。それまでのヨーロッパの大学の教室は、教壇に向かって、全体がコの字型に囲むようにサークル型に配置されていた。日本には明治維新の頃に伝わり、取り入れられてきたが、近年、文科省によって、小中学校では、知識伝達型の教育から、子どもたち自身が自主的に学ぶ教育に変えていこうとしている。教育の方法とは、教室の空間として家具の配置とも関係しているのではないかと考える。

教室の研究の動機は、軽井沢風越学園の設計に携わった際、日本のこどもの自殺について考えた。OECDの「15才の孤独度調査」によれば、OECD諸国の平均10%程度に対し、日本だけが30%と突出して高い。こどもの自殺率が年々増加している。「学校が、わくわくする楽しみに満ちた所、子どもたちの居場所がある場であれば、子ども達は死を選ぶだろうか。」

### ■「失われた30年」～建築家は変革者になれるか～ 3つの問題をあげる。

○知的生産システムの不全 ○こどもの育成環境の創造力の減退 ○リスクをとらない生き方の蔓延

「危険を好むという体質が新しい時代を築ききっかけになるのだとすると、今の日本は誰一人危険を好んでいないから、なしえないでしょう。」(ヤマザキマリ) (岩波明 著『発達障害という才能』より) リスクをとらなければならない。挑戦はリスクである。

### ■「人とまちを元気にする方法」～D字体による好循環の場～

「遊環構造」日本大学芸術学部の遊具プロジェクト(1972～1982)で、遊具におけるあそびの発展段階である、機能的段階→技術的段階→社会的段階について、調査遊具とゲーム発生頻度の、実験調査を行った。

「遊環構造」をつくり出すためには、7つの条件があることがわかった。

- ①循環機能があること ②循環が安全で変化に富んでいること ③シンボル性の高い空間、場があること
- ④循環にめまいを体験できる部分があること ⑤近道(ショートサーキット)ができること
- ⑥循環に広場や小さい広場などが取り付いていること⑦全体がポーラスな空間で構成されていること(孔が空いている)

走り回る、遊び回ること、子どもは多くの学びを得る。そしてこの構造が人々の意欲を喚起する空間構造だと感じている。

○回転体・循環体とは何か。(廊下空間や園路など) ○好循環環境体とは何か。(小さな回遊～経済的な影響～町全体の活気につながる)

○D字体とは何か 教室のコの字の家具配置などの、アタッチメントな空間をいう。

アタッチメント理論とは、幼児期の感情面の要求に対して、親が敏感に応えた子どもは自立心旺盛に育つ。挑戦するには安心基地が必要である。アタッチメントの環境は、困難をのりこえる人として成長するために必要な育成環境である。自然豊かな環境と愛情あふれる環境が子どもを困難に立ち向かわせる。

建築空間にD字体を用いることによって「安心基地」、「好循環環境」、「包む・受け取る・放つ」、「集中と開放」などを表現しようとしている。

### ■「Good Circular Place」～D字体を用いた好事例としての11の作品～

○愛宕山こどもの国 展望広場(1971) ○相模川 ふれあい科学館(1987) ○但馬ドーム(1998) ○辰巳水泳場(1994)

○中島記念図書館(2008) ○新広島市民球場(2009) ○ちぐさ幼稚園(2016) ○小田原三の丸ホール(2021) ○軽井沢風越学園(2020)

○石川県立図書館(2022)「本を探すというより、好奇心の海を泳ぎ回るような感覚になり、私は夢中になって館内を歩き回った。」という、見学者が投稿した記事を紹介する。まさに、遊環構造での、めまいの空間を体感してもらったような表現になっている。

○エディオンピースウイング広島(2024)都市に向かって広げ、ポーラスを表現しようとした。広島駅側から現地に向かうと、城南通りに対して、大屋根が被さり、都市に孔が抜けている。フィールドビューテラスでは二重の回遊性を意図している。初期のスケッチに「PeaceWing」と書きこんだ。そのまま、施設の名称として採用された。

「困難を乗り越える人は困難を遊ぶ人」困難を面白がる、困難を遊びとすることができる。こどものときに十分遊んだ子どもが困難を遊びに変える能力を獲得する。「子どもは親を選べないのと同様、生きる場を選べない。生きる場を用意する大人たちの責任は重い。子どもたちの未来は日本の未来でもある。私たちは子どもを第一とする社会を築かなければならない。」

「一座建立」衆人愛敬をもて 一座建立の寿福とせり(世阿弥『花伝書』)この姿勢を貫いていきたい。

ご高齢にもかかわらず、終始、ご起立で説明いただき、こどもの未来や、社会の改善のために取り組んでくださっているご姿勢同様、身振り手振りで、エネルギーにご講演いただき、感激いたしました。



MONTHLY 建築士  
No.194

IROSHIMA



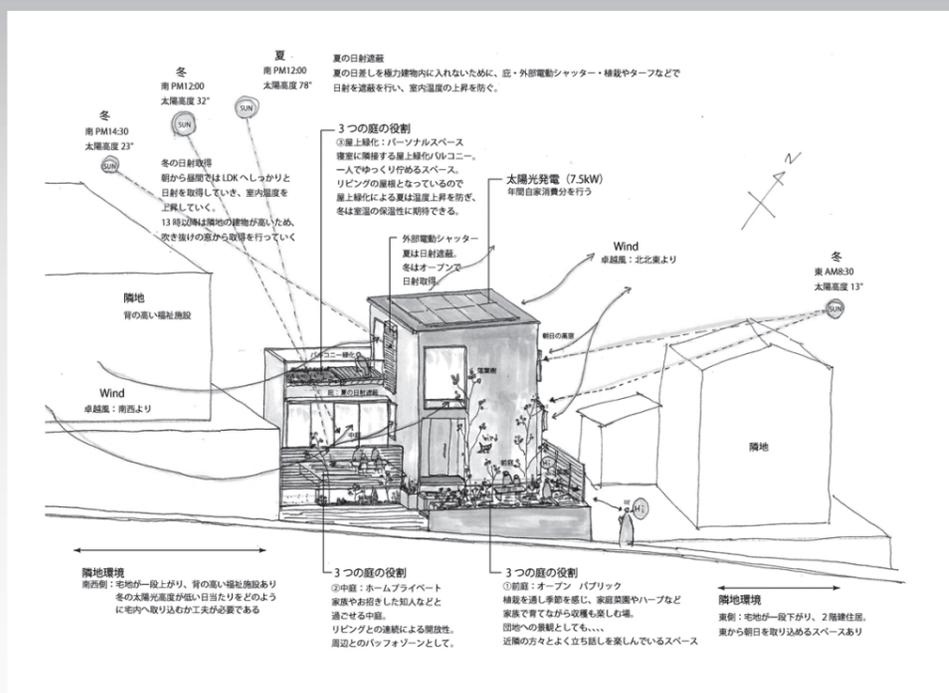
## 表紙写真について

パッシブ&エネルギーデザイン「観音台の家」

- 設計・監理／(株)ラーバン
- 施工／(株)ラーバン
- 所在地／広島市佐伯区
- 用途／住宅
- 構造規模／木造二階建
- 敷地面積／195.26㎡
- 建築面積／67.49㎡
- 延床面積／109.30㎡
- 竣工日／2022年8月



80年代、広島市内の住宅需要の中、造成された郊外団地。既存団地に対して「家族や地域」、「自然環境と循環」など人と環境に優しい住宅となっている。周辺環境を読み取り、シミュレーションを重ね、太陽光(熱)や風・蓄熱を活用・調整した設計となっている。それらにより、夏・冬の室内温度の安定化、大幅な冷暖房・照明・給湯器のエネルギー利用削減によって一般住宅(省エネ等級4相当)と比べ約45%の年間消費エネルギーの削減が実現した。また地域素材として広島の牡蠣殻を再利用した漆喰塗りや県産材など地域材を活用した住宅となっている。3つの小さな庭を設けることで草花の四季の変化、団地の景観性、家庭菜園なども楽しめ、個や家族、近隣など関わりの場となっている。



## ごあいさつ

(公社) 広島県建築士会 会長  
佐名田 敬荘



会員の皆さまには、平素から(公社)広島県建築士会の活動に対し、積極的なご参加、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

6月15日の総会・理事会におきまして、会員の皆様のご推挙により、第14代の会長に就任させて頂くことになりました。長い歴史と輝かしい伝統をもつ広島県建築士会の会長職を

務めさせて頂くことは、私にとって大変光栄なことと感謝申し上げますと共に、大きな変革のうねりの中で取りまとめ役をさせて頂くことに、責任の重さを痛感しているところです。

2期4年間、会長を務められた井本前会長におかれましては、コロナ禍で士会活動が軒並み中止又は延期されるなど通常ではない状況が続く、大変難しい舵取りをされたことと存じます。特に、令和2年(2020年)開催予定であった「全国大会広島大会」は、コロナ禍により1年延期となりましたが、翌年になっても治まらず、連合会始まって以来初めて、Web開催による全国大会となりました。こうしたご苦勞に、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

近年、建築を取り巻く社会環境が大きく変化し、建設業就業者の減少や高齢化、労務賃金の引上げや働き方の改革に伴う労働時間の短縮、更には円安などを背景とした建設資材価格の高騰などの課題とともに、建築士会においては会員の減少など、過去に我々が経験したオイルショックやバブル崩壊などとは異なった複雑な課題が立ちだかっているものと感じています。

また、地球温暖化の影響などにより豪雨災害や土石流災害などが頻発しており、さらには南海トラフ地震も予測される中、建築士会としても、災害発生時の対策等の課題に積極的に取り組むことが求められています。

こうした課題に対しては、建築士会の活動を通じて横の連携を一層強化し、常に新たな情報を得ることで、急速な社会経済情勢の変化や複雑化した課題等に的確に対応できるものと考えています。行政との連携については、県産木材の利用促進や災害対策の推進など各種方面で、関係自治体との協力体制の強化に向け、行政経験者としてその役割を果たしたいと考えています。

行政との連携に係る具体的な取組みとして、今年6月17日に広島市と坂茂建築設計、本建築士会との3者により締結した「災害時における避難所用間仕切りシステムの供給に係る協定」について、ご紹介させていただきます。この間仕切りシステムは、本建築士会創立70周年記念事業で講演いただいた坂茂氏から紹介されたものであり、災害時における避難所での被災者のプライバシーを確保する生活環境の改善に資するシステムです。被

災者のプライバシー確保は、今後頻発するであろう災害において、重要なテーマの一つとなるものと考えています。

本建築士会では、これまでも熊本地震での被災建築物の応急危険度判定士の派遣や、西日本豪雨災害では県内建築関係団体の中心となって相談員の派遣等を行ってまいりました。これからは、これらの活動に加え、建築の専門家として避難所間仕切りの設置計画の策定やその設営についても、役割を担うこととなります。

この協定を機に、本建築士会では、災害発生時や防災に関する取り組みを強化するための体制整備として、本年3月に災害対策委員会を設置し、技術者の育成などの取組みを推進して行くこととしています。

合わせて、カーボンニュートラル、BIM、AI、DX化等への取り組みなど時代の要請に応えるため、技術者としての社会貢献とともに、人材の育成に努め、責任ある団体としての責務を果たしていく所存です。

一方、県内各支部に目を向けて見ると、活動内容や会員数をはじめ取り巻く状況が異なっています。今後は各支部の実情に応じた対応、さらに、支部活動と本部活動との連携や、各委員会相互の連携も必要ではないかと感じています。こうした点についても、可能な限り目を向けて、より良い方向に活動が展開できるよう努めていきたいと考えているところです。

建築士は、設計、施工、行政など働く場所と内容は異なり、携わっている業務範囲は幅広となっていますが、共通しているのは建築を通したまちづくりであり、建築士として目指す方向は同じものと考えています。また、建築業界のすそ野は広く、多方面にわたっており、建築士としての活動も関連する人々・企業などとの横の連携が重要です。

建築士会は、同じ資格をもつ者で結ばれた公益的な団体で、利害を超えた横の連携を図ることができる組織であり、各種の活動を通じて、会員相互の親睦を深めつつ、建築士が連携しあって自己研鑽を積み上げる、そうした組織であると考えています。

建築士会の活動の場は、皆さまが建築士として、地域貢献などにより、自らの想いを実現することのできる場でもあると確信しており、今後とも、楽しく自らのスキルを磨いて頂くとともに、なお一層相互の親睦を深められる建築士会にしたいと考えています。

最後に、いろいろな課題の解決に向け、皆様方のご協力をお願い申し上げますと共に、今後ますます会員相互の親睦が深まり、さらに活発で楽しい建築士会となるよう、努力致しますことをお誓い申し上げます、会長就任にあたっての挨拶とさせていただきます。

今後とも、(公社)広島県建築士会が、より一層社会的役割を果たしていけるよう、会員の皆さまの活発なご意見とご参加をよろしくお願い致します。

**企画総務委員会**…………… 委員長 濱井 義樹

2018年から準備を進めながら結局コロナに振り回された全国大会に続き、これに連動して1年間繰り延べとなった昨年の70周年記念事業、また本年開催された青年・女性建築士の集い中四国ブロック広島大会も無事終了しました。

当面こうした大きなイベントは予定されておりませんので、広島県建築士会は本年度からようやく通常運行に戻ることであります。

とは言え、頻発する自然災害や、これまでも増して大きな課題となっている会員増強については一刻も早い対応が必要となっています。

災害対策については、本年度より宮迫勇次委員長の下に新たな委員会が設置され、様々な対応策が展開されることとなりますが、やはりこのような新規事業を進めていくためにもまずは会員増強を、という堂々巡りのような話になってしまいます。

会員増強策については、本年度より倉田まゆみ副会長がリーダーとなって検討されることとなりますが、会員数自体が年々減少しピーク時の半数以下となっている中でも、特に目立つのが会員自体の高年齢化です。

本会会員の年齢構成を見ますと、65歳以上が約4割、60歳以上とすれば約5割と高年齢層が半数を占めており、40歳以下の若年層については約1割、しかも新規加入者の先細り傾向が続いているという状況です。

企画総務委員会は、建築士会の企画運営に関することや各委員会の活動に対する支援などを担当することとなっていますが、今後は特に新規加入者の増加策に対する支援を最重点課題として取り組むたいと考えています。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

**交流厚生委員会**…………… 委員長 井手口 耕三

交流厚生委員会では、会員の親睦交流事業において活気あふれる活動を毎年行っております。今年度の行事としましては、第41回支部対抗ゴルフ大会を広島支部が幹事で11月9日(土)に東広島カントリークラブで開催する予定です。

また、第49回ボウリング大会においては東広島支部が幹事で令和7年2月8日に開催する予定です。

詳しい行事の内容については、マンスリーを通じて報告を行ってまいりますので多数の方のご参加をお待ちしております。

**災害対策委員会**……………委員長 宮迫 勇次

今年度新たに発足した委員会です。各支部からの委員13名でスタートしました。昨年の坂茂先生の記念講演会がご縁となり、紙管間仕切りを国内外に展開するVAN(ボランティア・アーキテクト・ネットワーク/坂茂代表)と広島市、広島県建築士会の3者協定が今年6月に締結されました。避難所暮らしの衛生・プライバシーを守るため紙管間仕切りの設置協力等を行います。これまでの被災建物への危険度判定員、建築相談員の派遣に加えて、また大規模化・長期化する災害に備えます。



広島市役所での3者協定



災害時の紙管間仕切り設置

一方、土木系の技術士会、法律系の弁護士や行政書士等、また福祉系、医療系などが加わる15分野の専門家団体による「広島県災害復興支援士業連絡会」に参加しており、災害発生時は専門的な支援活動するとともに、平時は予防啓発活動を通して、ワンストップ型の防災まちづくりへの建築技術面から支援しています。

**CPD・専攻建築士委員会**……………委員長 橋本明美

近年ではCPDプログラムの講習会がオンラインや対面とオンラインのハイブリッドでの開催が増加傾向にあります。また、建築士会のCPDプログラムに認定されていない講習会等(建築士会以外の各種団体や民間の企業等の講習)を受講した場合は、個人申請によりCPD単位の認定を受けることができます。そして専攻建築士登録のためには技術力をはかる指標としてCPD制度の単位が必要です。委員会ではCPDプログラム申請及び専攻建築士登録申請の事前審査をおこなっています。

**試験業務委員会**…………… 委員長 相原 直樹

試験業務委員会は、これまで一級・二級・木造建築士試験の試験監理を行っており、年間スケジュールとしては、7月第1週目の日曜日に二級建築士、7月第4週目の日曜日に一級・木造建築士の学科試験、9月第2週目の日曜日に二級建築士、10月第2週目の日曜日に一級・木造建築士の設計製図の試験監理を実施しています。

現在、委員会は、各試験を実施するに当たり、一級建築士資格を持つ当建築士会会員の協力を得て、日曜日であるにも関わらず、毎年延べ約110名の方々にご参加をいただき、試験会場での受験者の整理、試験前の配布資料等の準備、試験中の監理を行い、受験者に対し公平公正な試験の運営を行っております。

建築士試験に合格された方は、ぜひとも、建築士会に入会していただいた上で、当委員会にご協力していただくよう、よろしくお願いいたします。

**事業委員会**…………… 委員長 浦山 豊隆

事業委員会では主に、広島県建築士会主催で行う年1回の事業として、「公開まちづくりセミナー」と題した講演会の開催について、企画し、運営を行っております。

これまで、「公開まちづくりセミナー」では広島に関連した話題とともに、建築家などの専門家を講師にお迎えし、ご講演をお願いしております。昨年度は、エディオンピーススウィング広島のオープンに合わせて、仙田満氏を講師にお迎えし、3月6日広島県民文化センターにて『—Good Circular Place— 好循環の場をめざして』というタイトルで講演会を行いました。

その他の活動としては、公開まちづくりセミナーの開催に備えるため、事業委員会有志にて3月2日、環境デザイン研究所(仙田満氏)設計のこうわ認定こども園(海田第一、第二幼稚園)を事前に見学しました。また、創立70周年記念講演会記念誌掲載のため、創立70周年事業実行委員会「講演部会」として、一昨年度の坂茂氏講演会の講義録作成(文字起こし、文面調整作業、講師確認など)の作業を行いました。今年度の「公開まちづくりセミナー」につきましては、例年どおり2月～3月頃に開催できるよう、企画、準備を進めていきます。ぜひ、ご参加いただきますようお願いいたします。



**まちづくり委員会**…………… 委員長 福馬 晶子

まちづくり委員会は、防災、歴史、景観、福祉、街中(空き家)、地域貢献活動センター、木のまちづくりの6つの部会で活動を行っています。今年度は、災害対策委員会ができることと、一部防災部会については別となります。

様々な職種の建築士がおり、同じ職種でも多様な方向性があることから、建築士はそれぞれ様々なまちづくりに何かしら関わっているとと言えます。建築士がまちづくりを主導している場合も、裏方に徹している場合もあります。

委員会では、連合まちづくり委員会の各部会と連携を取りながら、委員がそれぞれ部会を担当し、活動を行っています。また、地域活動センター部会では、建築士が関わっているまちづくり活動に助成を行い、継続的な地域貢献活動を応援しています。なお、委員は各支部から1名が参加、7名で活動しています。

今年度の事業は、9年に1回の中四国ブロックまちづくり委員長会議が広島で開催することが大きな目玉です。その準備で今おかわらわす。今の広島の活気づいている街中のアピールをしようと、委員の皆で意気込んで進めています。

今後も、建築士の専門性を発揮し、地域との協働を進め、必要とされる建築士会を目指し、取り組んでいきます。ぜひご活用、ご協力ください!

**青年委員会**…………… 委員長 櫻庭 誠

青年委員会では、2ヶ月に1回の各支部持ち回りで青年委員会を開催しております。

その他にも、各支部青年間の交流、中四国ブロックの青年委員会の方との親睦も深めております。

- 昨年度の実績
- 6/10・11 令和5年度青年・女性建築士の集い中四国ブロック徳島大会へ28名参加
- 9/3 東広島支部事業のドリームアカデミーへ4名参加
- 9/23・24 令和5年度若手建築志(士)交流会in高根へ6名参加
- 本年度は、令和6年度青年・女性建築士の集い中四国ブロック広島大会(6/8・9)が9年ぶりに広島で開催されました。中四国の多くの方に参加頂き、大変好評でした。

昨年度は、活動の多くが中四国ブロック広島大会の準備が中心となっておりましたので、本年度は、会員の増強・親睦を中心に各支部での定例会と併せて、見学会・ワークショップを計画しております。詳細は随時ご案内します!



**住宅委員会**…………… 委員長 佐々岡 由訓

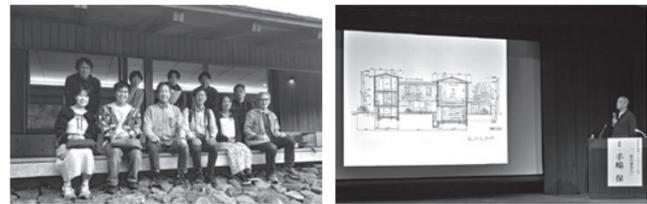
前期に続き、今期も住宅委員会の委員長を務めさせていただくことになりました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

住宅委員会では、住宅に関する事業として、住宅講演会、見学会の開催、イベントへの参加、勉強会などを行っています。委員のメンバーは県内各支部から集まった13人で活動しています。

住宅講演会は、全国で活躍されている建築家をお招きし、年1回開催しています。講師の先生から経験談など、直に聞ける貴重な機会、委員にとっても楽しみな活動となっています。今年も鋭意企画ですので、講演会開催の際にはぜひご参加ください。

委員も随時募集中です。委員会はWEB併用で開催していて、委員の皆さんにも無理のない範囲で参加していただいています。講演

会当日だけ、スタッフとしての参加も可能です。入会退会はいつでも出来ますので、住宅委員会に興味のある方はご連絡ください。



**ヘリテージ委員会**…………… 委員長 濱井 義樹

ヘリテージマネージャー(以下HM)養成講習会は本年度で11回目を迎え登録者数は233名となっていますが、残念ながらHM自体が活躍できる場はまだ少ないというのが現状のようです。

そうした中、日本建築士会連合会より、熊本地震を契機に文化財防災センター、日本建築学会、日本建築家協会、土木学会との5者間で2022年に締結された「災害時における歴史的建造物の被災確認調査および技術支援等に関する協力協定書」に基づき、能登半島地震への対応の遅れなどの反省も踏まえ、HMによる調査・支援組織の編成について、早急に具体的な対応を行うよう求められています。

ヘリテージ委員会では、HMの存在意義をより高めていくためにも、本年秋頃を目途にその体制作りや対象とすべき建造物等のリストアップなど、ヘリテージ協議会の方々とともに検討を進める予定です。

**女性委員会**…………… 委員長 小玉 志帆

近年、建設業界はDXに対する関心が高まっています。DXは、デジタル技術を活用してビジネスモデルや業務プロセス、企業文化を変革し、新たな価値を創造する取り組みです。

特に建設業界においては、ドローンが重要なツールとなっています。私たちは昨年よりドローン部隊を立ち上げ、学びながら活動してきました。今年度はこれまでの防災活動に加え、実務で活用できる企画を提案中です。メンバーは心配りのある素晴らしい方々ばかりなので、活動と+aの余白はきっと参加者を魅了することでしょう。

男女問わずどなたでも参加できるので気になったら気軽に声をかけてみてください。一緒に楽しく学びましょう。



大会を終えて

中四国ブロック広島大会実行委員長 長島 周平  
 去る6月8日(土)、中四国より総勢303名の青年・女性建築士が集まり広島市のアステールプラザにて令和6年度青年・女性建築士の集い 中四国ブロック広島大会が行われました。大会趣旨として「未来少年」～好奇心で切り開こう、新しい次代へ～と題し、最新のテクノロジーを体験してもらいながらも伝統的なものとの融合を考えてもらえる場となればと思い開催しました。大会次の日の理事会にて各県より来ていただいた皆様より感想をいただいたのですが、大会・懇親会ともにとっても好評をいただき、内容の濃い楽しい時

間だったと嬉しい感想もいただきました。私にとって2年前の準備から計画、そして重ねた会議など思い返してもとても有意義な時間だったと感じております。そして、何より大会を成功できたのはご協賛いただいた企業の方、またブロック大会副委員長の長岡さんを始め、各委員長また担当リーダー、チームメンバーなど青年・女性で一丸となって取り組んでいただいた皆さんがいたことだと思います。委員長として至らぬところもあったかと思いますが、皆様には大変感謝しております。本当にありがとうございました。9年後、また広島で盛大に開催されるよう、この経験を伝えていきたいと思っております。

大会スケジュール

■第1日目 6月8日(土)

- 【本大会】
- 12:00 受付
- 13:00 地域実践活動報告
- 15:15 分科会
- 17:00 閉会式
- 【大懇親会】
- 19:00 懇親会・地域実践順位発表・各県PRタイムなど
- 21:30 終了

■第2日目 6月9日(日)

- AM: 中四国ブロック青年建築士協議会
- 中四国ブロック女性建築士協議会
- 中四国ブロック青年・女性建築士協議会合同理事会
- PM: エクスカーション
- PlanA: 新サッカースタジアムを見てみよう! まちなか見学会
- PlanB: 川からまちを見てみよう! 水上バスツアー
- PlanC: ARで未来の広島を体感しよう! 再開発プロジェクト体験会
- PlanD: まち全体を使ってゲームをしよう! 建築ロゲイニング
- PlanE: おりづるタワーで鶴を作ろう! 水引ワークショップ



地域実践活動の報告

「地域実践活動報告会」は、各県での建築に関する認識を深めるとともに、地域と建築士の係わりを深めるため、活動事例を参加者で共有し、今後の活動をさらに発展させるための質疑応答を行いました。7分間という限られた時間内での発表と、事前に提出された展示パネルをじっくり審査し、得点に応じて各県の順位を決めました。採点は、プレゼンテーション、発想・コンセプト、継続的活動、地域との連携、今後の展望という視点で審査員による審査と、大会参加者からもwebフォームによる投票をして頂き、順位を決めました。今

【広島県 プロジェクトD～挑戦者たち～】

女性委員会 小玉 志帆

近年、建設業界はDXに対する関心が高まっています。そしてドローンはDXを推進する上で重要なツールです。私たちは「ちょっと不安だけどみんなでやればなんとかなる!」と信じてドローン部隊を立ち上げ挑戦しました。座学で基礎知識を学び、各自10時間の飛行練習を行い、さらに4つの地域で実践練習を行いました。そのうち2つの地域には報告書も提出し、今後は改修計画を立てる予定です。1年間という短い期間でし

回は未来感を出すため、発表者用の演台は設けず、発表者は表示されたパワーポイント画面の前にてピンマイクを用い発表をしてもらいました。着目点は各県によりさまざま、一般参加型事業や、防災・環境など地域コミュニティを考える事業、建築士のスキルアップに繋がる事業など、参加者にとって自身の活動のヒントになる時間となったと思います。また、発表者のプレゼンテーション力や情報のまとめ方も建築士としての伝える力を向上させるための時間となりました。

今回優勝した県は愛媛県でした。鹿児島で開催される全国大会で発表をする予定です。

たが、これまで経験したことのないことばかりで、非常に内容の濃い活動でした。

最優秀賞を狙っていましたが、結果は優秀賞でした。新しいことに挑戦することに精一杯で、昨年まで取り組んできた防災活動を活かせなかったことを反省しました。今後は新たに参加される会員や学生の方に、私たちが教える側にステップアップしたいと考えており、これまでの継続事業の防災活動に加え、実務で活用できる企画を試案します。



各県のパネルです。当日は会場内のプロジェクターで表紙、オンライン上でも展示しました。

- ・最優秀賞: 愛媛県
- ・優秀賞: 広島県



最先端の技術などや次世代の伝統的な技術に触れあってもらうことを目的として開催しました。会場の大きさの問題などもあり、前半と後半に分かれて講演を聞くチームと体験をするチームに分かれて行いました。

今回の企画趣旨は—————

- ・ 演目の設定：進化し続ける技術、10年後には当たり前になっているかもしれない技術の両方に触れる。
- ・ 選択の設定：情報が溢れている中で、どの情報を選択し、掘り下げるかを来場者の方が選択する。
- ・ 時間の設定：より多くの情報を短時間で習得【タイムパフォーマンス】を意識した講演時間の設定を具体的にしていく事で全体構成を企画した。

■講演～未来少年エピソード

I：「建築×PLATEAU」

国土交通省 国際・デジタル政策企画調査官 椿 優里 氏

II：「未来の茅葺」 沖本太一氏

■体験型講習会～未来少年エピソード

III：ロボット犬現れる！！(定員30名)

IV：ドローン、できるじゃん！(定員30名)

V：未来の左官の土遊び(定員30名)

VI：BIMからAR・VRを体験(定員30名)

『体験型学習会』III：ロボット犬現れる！！

最新技術の一環として、土木建設現場にロボットの導入により高精度で安全な測定の自動化という新しい未来を創っている



企業様の協力を得て、今回のロボット犬を実際に見る機会ができました。階段から段差をものともせず、登場するロボット犬に皆さんの驚きの表情がとても印象的でした。現在の技術の進歩への驚きと共に今後の未来への片鱗が垣間見える貴重な体験となりました。(南 博之)

『体験型学習会』IV ドローンできるじゃん

座学後、ドローン走行やドローンレース、シュミレーションを行い、実際に操作をして様々な体験をしてもらいました。皆さん、ドキドキ顔から子どもの様

にワクワクと笑顔で操作されドローンから手を離すと一同に「楽しかった！」と言ってもらえました。百聞は一見にしかずですね。講習会があれば参加したいとの興味深々な感想に喜びました。(倉田まゆみ)



『体験型学習会』V：未来の左官の土遊び

講師の方の指導の下、色の違う2種類の土、3種類の型を用いてアロマポッドやお香スタンドを製作してもらいました。土をまぜまぜ、型にはめて土をトントン、皆さんが「型はこれにしよう！」「意外と難しいな。」「土の色を変えてみよう！」などとまるで童心に帰ったような笑顔で無邪気に土遊びして頂きました。脱型が約3日後ということで、皆さんが製作した完成品が見られないことが心残りですが、きっと素敵な作品が出来ていることと想像しております。(松岡宏明)



『体験型学習会』VI：BIMからAR・VRを体験

大塚商会様のBIMを用いたAR/VR体験では、実際にVRゴーグルをつけ、住宅や工場などに没入できる体験を行いました。ハンドルで進みたい方向や色合いの変更など、これからVR・ARを用いて、提案する側・提案される側どちらもイメージがつくもので、参加者からはクオリティの高さに驚きと、作成の工数や実際に取り入れた際にかかる費用など様々な質問も出ていました。実際に経験することでこれからの提案の幅も広がるいい体験会になりました。(谷本 恵)



6月9日当日は、あいにくの雨でしたが、屋内外のエクスカージョンとも、それぞれがそれぞれの広島の建築の楽しみ方ができたようです。

PlanA 新サッカースタジアムを見てみよう！まちなか見学会

2024年春に竣工したばかりのサッカースタジアム「エディオンピースウィング広島」を見学する予定だったのですが、丁度その日に試合が入ってしまい、実際に中を見ることは断念せざるを得ませんでした。発注者である「広島市都市整備局スタジアム建設部」の皆さんによる解説を、事前に動画で撮り、中四国ブロック大会にご参加の皆様は誰でも見ていただける状態にしました。

ツアーは、2022年開業した「ひろしまゲートパーク」(広島市民球場跡地)からスタートし、スタジアムへのメイン動線を歩きながら、変わりゆく広島市中心部の再開発の様子や、人の流れの変化なども感じてもらい、サッカースタジアムについては各自外から自由に見ていただきました。ひろしまゲートパーク内の丹下健三ラインから平和公園を眺めて皆さんひとしきり感心していました。

PlanB 船に乗って川からまちを見てみよう！水上バスツアー

三角州に広がる広島市は「川の街」としても有名です。貸し切りの水上バスで川からまちを見学しました。

平和公園横からスタートして南は広島市環境局中工場(谷口吉生設計)から、北は市営基町高層アパートや新サッカースタジアムまで特別ルートを回りました。まちオタクの青年部メンバーが、詳しく、面白く解説をしたのが、かなり好印象でした。

PlanC ARで未来の広島を体感しよう！再開発プロジェクト体験会

広島市中心部でいくつも計画されている再開発プロジェクトの計画地を回りながら、最新のジオロケーションARでボリュームをイメージしてみよう、という未来型エクスカージョンです。今後の広島の再開発が、スマホを除くと見えるので、皆さん感嘆の声をあげていました。

- ・ 本通3丁目(本通3丁目地区市街地再開発事業)、
- ・ 基町駐車場(広島市基町相生通地区第1種市街地再開発事業)
- ・ YMCA広島(広島八丁堀3・7地区市街地再開発事業)

PlanD まち全体を使ってゲームをしよう！建築ロゲイニング

スマホを使ったオリエンテーリングのようなゲームをシティロゲイニングといいます。その建築版のコースを、今回の中四国ブロックのために、青年部の北村さんが中心に、チェックポイントとして広島市内に広がる建築を、写真を撮り説明を書いて集めて作成しました。(その数約100ヶ所！お疲れ様です！)ゲームは、より多くの建築を公共交通機関やレンタルサイクルを使って回って点数を稼いだ人が勝ちです。同じ県のメンバー同志などで和気あいあいと周り、途中でお昼ご飯も楽しみ、広島の街を堪能できたようです。優勝者には丹下健三の広島に関する記事の載った古雑誌など、なかなか手に入らない豪華賞品が授与されました。

PlanE 平和記念公園で鶴を作ろう！水引ワークショップ

中四国地方で水引作家として活動されている吉長孝衛さんをお招きして基本の「あわじ結び」から「鶴」の飾り物にチャレンジしました。「水引」は非常に繊細でかわいい伝統工芸ですが、昨今は職人さんがめっきり減っているため、教えていただけることは貴重な体験です。結構難しいので、皆さん、ふうふういいながら、完成させました。作品はお土産にもよかったようです。



# CPD 認定プログラム(9月の広島県内実施分)

2024年7月11日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
9/5	H3101 事例で学ぶビルにおける給排水衛生設備の保守管理技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/6	H3101 事例で学ぶビルにおける給排水衛生設備の保守管理技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/7	H1602 ドローンを活用した測量実践技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/7	H0601 建築施工図作成・管理支援技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/7	令和6年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会(2)	6	広島県建築士会	082-244-6830
9/8	H1602 ドローンを活用した測量実践技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/8	H0601 建築施工図作成・管理支援技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/10	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
9/12	改修工事ここが知りたい技術セミナー「マルチメーカーエレベーター・リニューアル工事」勉強会	2	広島県建築士事務所協会	082-221-0600
9/13	第一種電気工事士定期講習(広島市)9/13	6	電気工事技術講習センター	03-5206-2720
9/18	【第2回】労働安全衛生特別教育(低圧電気)講習会(広島会場)	8	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/19	【実技コース】労働安全衛生特別教育(低圧電気)講習会(広島会場)9/19	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/24	第一種電気工事士定期講習 日建学院 福山校	6	日建学院	03-3988-6467
9/24	高圧受電設備規程講習会(1日目)9/24	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/25	高圧受電設備規程講習会(2日目)9/25	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9/26	「建築設備設計基準 令和6年版」講習会(機械設備)	5	公共建築協会	03-3523-0382
9/27	「建築設備設計基準 令和6年版」講習会(機械設備)	5	公共建築協会	03-3523-0382
9/27	基礎から学べる建築士会のAIセミナー 第2弾	2	広島県建築士会	082-244-6830
9/28	H1502 ドローンを活用した建物劣化診断技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9/28	令和6年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会(3)	6	広島県建築士会	082-244-6830
9/29	H1502 ドローンを活用した建物劣化診断技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338

## 安全で安心な住まいづくりをサポートします。



- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット 35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関  
**株式会社 広島建築住宅センター**  
URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10  
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231  
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22  
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974



「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに  
より確かなサービスを提供します



- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 調査診断業務(遵法性調査、定期報告等)
- 登録住宅性能評価機関
- 長期使用構造等の確認業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS) 評価業務

12条点検は弊社におまかせください



株式会社 **ジエイ・イー・サポート**  
URL <https://www.jesupport.jp/> e-mail: [mail@jesupport.jp](mailto:mail@jesupport.jp)

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F  
TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201  
東京支店: 東京都千代田区神田富山町22-7F  
福岡支店: 福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17-8F

## ふるじえくと PROJECT NEWS ニュース

広島支部

このたび写真部を立ち上げることにしました。つきましては下記日程で1回目の撮影会を開催したいと思います。奮ってご参加・ご入部ください。

- 日程** 2024年9月28日(土) 13:30~17:30
- 集合場所** 〒730-0036 広島市中区袋町6-36 合人社ウエンディひと・まちプラザ 南棟会議室
- 会費** 1,000円/人 **定員** 15名

申し込み方法は、会報誌に同封したリーフレットを参照してください。

### 第1回：平和記念公園でフォトウォーク

- 13:30 ひと・まちプラザでレクチャー カメラの種類・基礎用語解説
- 14:30 平和記念公園までグルッとまわってフォトウォーク みんな同じ露出に固定して撮ってみよう!
- 16:00 ひと・まちプラザに戻ってみんなでレビュー 人に見てもらおうとうまくなる!?...
- .....終了後、懇親会あり(運営会議)

## ふるじえくと PROJECT NEWS ニュース

福山支部

### 2024年度「設計に活用したい」セミナー『地球環境と今後の日本について考える研修会』

- 日時** 2024年10月4日(金) 13:30~17:00
- 会場** まなびの館 ローズコム 4F 会議室(福山市霞町1丁目10番1号 TEL:084-932-7265)

- 『浸水被害を防ぐための止水製品について』..... 講師:文化シャッター株式会社(鈴木氏)  
2018年7月豪雨では大雨特別警報が発表され、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、これらの影響で瞬間に増水した結果、床下浸水 20,942 棟、床上浸水 13,258 棟という甚大な被害をもたらしました。このような急な増水による浸水被害対策の必要性について解説していただきます。
- 『建設業をとりまく課題とシステム建築』..... 講師:日鉄物産システム建築株式会社(下司氏)  
建設業界の高齢化や、労働人口の減少に伴う人材不足で長時間労働が常態化しているといった労働環境問題が背景にあります。このような課題に対して部材や施工方法が標準化されていることにより工期の短縮が図れ、人材及び技術者不足も補うことができる「システム建築」について解説していただきます。
- 『地球温暖化と遮熱及び気密について』..... 講師:酒井化学工業株式会社(笹本氏・中山氏)  
省エネルギーと快適性の両立を考慮した遮熱及び気密について解説していただきます。
- 『カーボンニュートラル実現に向けた省エネ基準適合義務化について』..... 講師:YKK AP 株式会社(川上氏・宮川氏)  
2050年のカーボンニュートラル実現に向け、世界的に脱炭素の動きが強まっている中、日本でも2025年4月から全ての建築物において省エネ基準への適合が義務化されることが決まっています。そこでこの制度への対応を外皮性能の観点から解説していただきます。

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録省エネ判定機関(中国地方整備局長登録第3号)  
BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は  
迅速、的確な審査で、皆様の建物の  
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすばりカバーしています

**Energia** **ハウスプラス中国住宅保証株式会社**  
URL: <https://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店:広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル  
TEL:082-545-5607 FAX:082-545-5608